

おおた 子どもの生活応援プラン掲載施策 令和7年度実績報告

A評価(当初想定を上回る実績があった)

個別施策	令和7年度 事業実績	評価説明	所管課
産後家事・育児援助事業 (びよびよサポート)	【びよびよサポート】 - 対象 2歳まで(3歳の誕生日前日まで)の乳幼児を育児中の世帯 - 利用上限時間 対象児1人当たり、各年齢において年間30時間 - 利用料金 1時間当たり500円(初回利用世帯2時間無料) - 住民税非課税世帯、生活保護世帯は免除 新規申請者数 1,949人 利用者数 1,371人 延べ利用回数 7,912回 利用時間数 17,156時間	利用時間数や利用対象期間等を拡充しました。その結果、利用時間数はびよびよサポートが前年度比の約1.7倍、にこにこサポートが約3.5倍となりました。利用者数においても、びよびよサポートは前年度比の約1.3倍、にこにこサポートは約2.3倍となり、多くの子育て世帯の家事・育児の負担軽減につながりました。	子育て支援課
産後家事・育児援助事業 (にこにこサポート)	【にこにこサポート】 - 対象 妊娠中から産後1年以内の妊産婦 - 利用上限時間 30時間(双子の場合は60時間) - 利用料金 1時間当たり1,000円(初回利用世帯2時間無料) - 住民税非課税世帯、生活保護世帯は免除 新規申請者数 1,753人 利用者数 950人 延べ利用回数 4,554回 利用時間数 10,759時間 *産後ドゥーラ養成講座受講料助成 助成金額21万円 助成人数 8人	利用時間数や利用対象期間等を拡充しました。その結果、利用時間数はびよびよサポートが前年度比の約1.7倍、にこにこサポートが約3.5倍となりました。利用者数においても、びよびよサポートは前年度比の約1.3倍、にこにこサポートは約2.3倍となり、多くの子育て世帯の家事・育児の負担軽減につながりました。	子育て支援課
乳幼児ショートステイ事業	- 対象 生後5日から2歳未満の乳幼児 1日の定員 3人 - 利用可能日数 1泊2日から最大6泊7日まで(同月内2回まで) - 利用料金 1泊2日6,000円、以降1日増加するごとに3,000円追加。(住民税非課税世帯は利用料金が半額、生活保護受給世帯は利用料金を免除。) 利用者数 94人 延べ利用回数 306回 利用日数 864日	受入施設を1施設追加して2施設とするなど、事業拡充を行い、利用ニーズに対応しました。その結果、利用者数及び利用日数が大幅に増え、乳幼児の保護者の負担軽減につながりました。	子育て支援課

C評価(実績が当初想定を下回った)

個別施策	令和7年度 事業実績	評価説明	所管課
スクールソーシャルワーカーの学校派遣	○学校等から依頼を受けて派遣する方式に加え、学校配置方式を3校でモデル実施しました。不登校等の様々な困難を抱える児童・生徒の環境調整や学校、地域とのネットワークの構築、関係機関等との連携により問題解決に向けた支援に取り組みました。 【スクールソーシャルワーカー対応状況】 電話相談 2,616件 ※うち配置中学校及び巡回小学校の電話相談 982件 訪問活動 1,726件(学校訪問928件、家庭訪問393件、つばさ教室17件、関係機関訪問388件) ※うち配置中学校及び巡回小学校の訪問476件 学校内ケース会議参加 699回	中学校の拠点校を令和6年度の3校から6校に拡充する計画でしたが3校に留まりました。従来の学校からの依頼による相談に加え、拠点校にスクールソーシャルワーカーを配置することで学校内会議に頻繁に参加し、児童・生徒の課題を早期に発見できるケースもあり、拠点校の拡充計画が未達成だったことで、相談環境の十分な拡充には至りませんでした。	教育センター